

WDC 160369
NA 12366

武調査部長殿

第九一空淡水派隊第五〇號
ノ五

軍極秘

昭和二十年一月三十日

第九一空淡水派隊 戦闘詳報

第九一海軍航空隊

二月九日提出



1395

第九〇一空淡水派枝密第五〇号ノ五

戦闘詳報

第九二海軍航空隊淡水派遣隊

一、時刻

昭和二十一年一月三十日 一五七一—二〇〇六

二、場所

富貴角燈台附近

三、天候

半晴、雲量七、雲高五〇〇 風北東八米 視界三哩

四、任務及搭乗員

対潜掃蕩、操縦今井上艦曹、偵察荒井少尉、電信岩上艦曹

五、使用機

零式水上偵察機二型(磁探裝備機、爆彈五番三号一発搭載)

六戰鬪經過

富貴角ノ九〇度一四哩ニ出沒セシ敵機掃蕩ノ命ヲ受ケ昭和二十一年一月三十日〇九
 〇七淡小基地登二五〇在務終了帰投中富貴角ノ北東約七哩ニテ大型機
 一枚右後方四五度六哩附近ヨリ近接シ来ルヲ操縦員発見敵機ノ疑アリシヲ以
 テ直ニ其首長ニ報告全員見張ヲ嚴ニシテ稍増速シ味方識別信号
 ヲ行ヒ距離ヲ引離シテ富貴角ニ定針セリ然レニ前記大型機モ増速シ次
 第ニ近接シ距離約五〇〇メートルナリ頃敵機B24ノ追躡ナルコトヲ察知直ニ高度
 ヲ一〇〇米ニ低下發動機回転ニ三〇〇速力一四〇節ヲ回避運動ヲナシ敵機発見
 ヲ基地ニ報告セリ敵機左後方距離約一〇〇〇米高度三〇〇米ヨリ機銃掃
 射ヲ以テ攻惠シ来レリ、依テ直ニ左右横滑或ハ左右三〇度附近ノ横滑急施
 回ヲ以テ敵機ノ回避ニ努メタレドモ敵機トノ距離益々近接シ距離約五〇〇
 米トナリ全機銃ヲ以テ攻惠シ来リタルヲ以テ敵機ノ射界ヨリ急脱ノ爲外側ニ
 横滑急施回ヲ海岸ノ岩間ヲ這フ如ク行動(高度約二〇〇米速力一四五節)

敵機ヲ左外側ニヨリ引離シ淡水基地ニ向ケテ一旦引離タル敵機ハ執
 拗ニモ左後方ヨリ追躡攻重ニ来レルヲ以テ之ヲ淡水基地防空砲火ノ射距
 離圏内ニ誘致セント全速ニテ避退セシメ敵機再度機銃掃射ヲナシ近距離ニ
 迫リタルヲ以テ再び左右急旋回又ハ横滑等不規則運動ニ依リ射彈回避ニ
 努メタルモノニ於テ被彈ヲ感知セリ茲ニ於テ敵機心勃々トシテ沸リ体當
 リヲ以テ之ヲ墜墜スバク決意シ敵機ニ迫ラント急旋回ヲ行ハル所敵機トノ
 距離意外ニ駈離シ敵機モ追攝ヲ止メ及軌高度セロズニテ海上ニ脱去セリ
 防空隊ハ戦闘配置ニ就キタルモ交戦スルニ至ラズ

七、戦果々被害
 戦果ナシ

被害被彈ニ祭(十三粒徹甲彈)

一彈一信席後方約一采右側ヨリ左側へ斜下ニ貫通更ニ左浮舟水中
 航ヲ貫通、二彈一右エルロニ中央上ヨリ下ニ貫通

八所見

大型機ニ対スル避退方法ハ彼我ノ旋回圈ヲ利用シ零式水偵ノ如キ劣速機
ニ在リテハ全速ニテ敵機トノ距離ヲ引離シ近距離ニ接近セバ射彈回避ノ爲
横滑ヲ交ヘタル急旋回(横ロール)ハ紋ルヨナス、高度ハ三〇米以下ノ低高度
トナシ用ニ切リ大ナル操縦ヲ有利トス

附近ニ利用スベキ地物並ニ防空砲火アル時ハ極力之等ニ近接スル如リ誘
導スルヲ可トス

本戦闘ニ於ケル避退法ハ勇力敢ニシテ上處置極メテ敵切ナリトモト認ム

(終)